

2019年3月26日

日本船主協会

### アジア船主協会シップリサイクル委員会第22回中間会合開催

当協会は3月15日（金）、台北で開催されたアジア船主協会シップリサイクル委員会に参加した。同委員会では、中核団体としてシップリサイクルを巡る主要解撤国への実地調査による改善状況把握や解撤関連の国際諸会議・関連政府間協議への参加など香港条約発効に向けた積極的活動を報告し、条約発効の鍵であるインド・中国に焦点をあてた対策を提案した。同委員会では、当協会提案を骨子とした香港条約発効に向けての対応方針を含む共同声明を添付の通り採択した。

近々わが国政府による香港条約批准が予定されるなど条約発効機運の高まりを受けてインド・中国による条約批准が実現すれば発効要件充足に一気に向かうと見られる。一方、総選挙後の7月に批准手続きの駒を進めるとのインド政府の意思表示と対照的に中国は解撤目的による外国籍船の中国への輸入禁止に踏み切るなど、自国内環境政策の変革期にある。世界環境改善を目指す香港条約と国内政策の整合性の整理が未決という事情が批准の足取りを重くしている。

今般のアジア船主協会シップリサイクル委員会の共同声明は、両国に焦点を当てた対策を両国船主協会が揃って参画する唯一の船主団体として前向きに取り組む意思を明確にしたものである。ICS、欧州船主協会などの海運諸団体と連携して香港条約発効に向けて注力していく。



ASA 第22回 SRC 中間会合

※ アジア船主協会（Asian Shipowners' Association）は、アジア地域の船主間の相互信頼と協力関係の育成を目的に、1992年に日本船主協会の提唱により設立。アジアの8地域／国（豪州、中国、香港、インド、日本、韓国、台湾、アセアン（ブルネイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム））の船主協会により構成されている。













